

今年度の校内研究について

盛夏の候いかがお過ごしでしょうか。保護者の皆様には、なお一層健やかに過ごしのことと存じます。さて、昨年度の校内研究では、子どもたちの深い学びのためにどのようにICTを活用すればよいのか、「習得」「活用」「探究」の学習過程の中で授業改善を考えていきました。実践を通して、子どもたち教職員ともに、授業づくりやICTの在り方について考えることができました。

今年度は、『自分の思いや考えを表現できる児童の育成～国語科「話すこと・聞くこと」を中心とした言語活動の充実を通して～』を研究主題に設定しました。自分の思いや考えを言葉にすることは、なかなか難しいことであると考えます。しかし、本来子どもたちは、「話したい」「聞きたい」「伝えたい」ことは、たくさんあるのではないかと考えます。子どもたちが課題に対して自分の考えをもったり、自分の思いを伝えられた喜びを感じたりしてほしいという願いをもって、校内研究を進めて参ります。

年間3回の研究授業、そして日々の実践を通して、研究主題に迫っていければと思います。今年度も、どうかご理解のほどよろしくお願いいたします。

研究構想図

【研究主題】

自分の思いや考えを表現できる児童の育成
～国語科「話すこと・聞くこと」を中心とした言語活動の充実を通して～

各単元で目指す「自分の思いや考えを表現できる」の具体化

言語活動の充実

考えの形成

学習の課題に対して自分の考えをもち、
どのように表現するか考えること

表現・共有

他者との交流を通して、多様なものの見
方や考え方に触れること

思考のまとめ

自分の考えを再構築し、考えを深めること

言語活動を支える学習基盤

知識

「話す・聞く」の学習に関わる用語の整理、系統性のまとめ

技能

「話す・聞く」の学習に関わる話型の整理、系統性のまとめ

《 目指す児童像 》
課題意識や目的意識をもって話を聞き、自分の考えをもつ児童

目指す児童像に迫るための手立て

(1) 言語活動の工夫

課題意識や目的意識をもって話を聞くために、「誰かに伝えるために工夫して聞き取りメモを取る」という言語活動を設定した。単元の導入では、メモを取った経験を思い出し、うまくいったときや失敗したときのことを振り返ることで、聞くことに課題意識をもたせる。そして、芝久保小の先生のことを伝えることを目的とし、話を聞いてメモをすること、メモをもとに聞いたことを共有することに必然性をもたせる。

(2) 「考えの形成／表現・共有／思考のまとめ」の工夫

①考えの形成

聞き取りメモをとる工夫を「聞き取りメモの術」としてまとめる活動を行う。例えば、「スピードアップの術」「メモダイエットの術」「思い出しの術」など、見つけた工夫を子どもの言葉でまとめることで定着を図る。

②表現・共有

本単元では、聞き取りメモの有効性を自身で確かめるために、聞き取りメモのみを使って情報を共有することを基本とする。ただし、個別に支援を要する児童には、話型を提示したり、原稿のようなものを作成したりすることで、話すことへの抵抗感を減らしていく。

③思考のまとめ

各時間の終末に、本時の学習を振り返る時間を設定する。聞くことやメモを取るに関して、どのように考え方が変わったのか変容が見られるようにする。

成果と課題

成果

- 先生たちの話を紹介するという言語活動は、児童の関心に即していた。
- 「班の友達に話を共有するために聞く」という目的意識をもって児童は活動に取り組んでいた。
- 「〇〇の術」という形で、聞き取りメモの工夫を子どもの言葉でまとめた点良かった。
⇒児童が自分の課題に合った「〇〇の術」を使おうとしていた。
- メモを取る前後に、メモの準備の時間、メモの整理の時間（思考を整理する時間）が確保されていてよかった。
- 話の要点を確認提示したことで、児童が具体的に振り返ることができた。

課題

- 言語活動の設定は、児童の思いから作っていけると、継続して意識できると思う。
⇒各単元の導入部分（課題意識の設定、言語活動の設定、学習計画の検討など）を児童中心で進めていく工夫を考えていきたい。
- 聞いて書くことに一生懸命で、うなずいたり目を見たりしながら話を聞くことは難しかった。
⇒「話すこと・聞くこと」における技能を引き続き育てていきたい。
- 共有の後に、同じ題材の友だち同士でメモを見合う時間を取れるとよかった。

